
第7回 昭島市総合基本計画審議会 第1部会

議 事 要 旨

【日 時】 平成22年8月5日(木) 19:00～20:30

【場 所】 昭島市役所 3階 庁議室

【出席者】

1 委員

松本芳之部会長、小川仁副部会長、井ヶ田博委員、大田眞也委員、小野正敏委員、小林和子委員、福崎誠委員

(欠席者) 國井俊彦委員、中村圭子委員、平石正美委員

2 事務局

日下企画部長、佐藤総合基本計画担当主幹、柳主査

3 コンサルタント会社

白鳥

【日 程】

1 基本計画素案 第7章 計画の実現のために

2 政策指標について

(1) 政策指標の必要性について

(2) 政策指標の掲載位置について

3 検討の取りまとめについて

4 その他

【配布資料】

- ・資料1 第7章 計画の実現のために
- ・資料2 基本計画素案(第1章～第3章)
- ・資料3 基本計画素案(第1章～第3章)修正箇所一覧
- ・第五次総合基本計画 政策指標一覧
- ・チームあきしま報告書 ～政策指標について～

【議事要旨】

○議事録の確認

事前に送付した議事録について、各委員の了承を得た。

1 基本計画素案 第7章 計画の実現のために

【説明】

事務局より、資料1「基本計画素案 第7章 計画の実現のために」についての説明が行われた。

【質疑応答・意見】

(広報無線の利用について)

- 資料1 3ページ①「情報の共有化」について、広報無線による情報提供に関する基準はあるか。火災発生時など、インターネットなどと異なり逸早く情報が得られるので、大いに利用して欲しい。【小林委員】

- 災害、人命救助などの緊急時や市のイベント中止など、一定の基準、判断に基づき情報提供を行っている。小学校の下校時の見守りにも活用している。良い媒体である一方、音声に関する苦情意見もあるが、災害や人命といった安全・安心に関わる内容を優先して情報提供を行っている。

【事務局】

(市政懇談会について)

- 市政懇談会のテーマや開催頻度はどのように決めているのか。(3ページ基本施策①情報の共有化)【小野委員】

- 個別計画に関する意見といった具体的なテーマに関する意見を必要に応じて聴取する場合と、定例的に実施する場合とがあり、後者は年1回実施している。【事務局】

2 政策指標について

【説明】

多摩26市中13市、全国の類似団体30市中12市で指標を設定している。個別指標に関しては、次回審議会で検討頂くが、メリット・デメリットも踏まえた必要性、掲載位置についてご意見を頂きたい。なお、庁内での検討において、目標値は極力数値設定を行う(上向き矢印ではなく)ことが望ましいとの意見があり、具体化を調整中となっている。

【質疑応答・意見】

(1) 政策指標の必要性について

- 政策指標は位置づけた方が良い。【井ヶ田委員、小野委員、小林委員】
- 行政の長期目標は、企業の経営計画とは異なり、絶対に達成を求めるという考え方ではなく、努力目標として捉えることが妥当ではないか。【松本部長】
- 目標値を位置づけることにより、具体的な施策方向が明示され、人事異動があっても、進むべき(実施していくべき)内容が明確になる。【井ヶ田委員】
- 目標値は固定的に考えず、環境・社会状況変化に応じて、ローリングで数年単位で見直すことが望ましい。【小野委員】

- 定量化が可能な指標は目標値をきちんと示すとともに、定量化になじまず、定性評価しかできないものはそれで良く、柔軟に考えることが望ましい。【井ヶ田委員】
- 数値の検証が継続的に実施できる目標指標を設定する必要がある。庁内検討において、第3章や第6章では目標値が上向きの矢印ばかりとなっており、具体的な数値目標を設定すべきとの意見が示された。【事務局】
- 前計画の目標指標の妥当性や達成状況がどうなったかを出発点として検討することも考えられる。【松本部長】
- 第4次計画では、50の政策指標を設定した。環境が変化し、時代遅れとなっている指標があるとともに、未達成で今後も必要となる指標、継続的な施策・事業の実施が求められる中で、今後も必要となる指標もある。【事務局】
- 基本計画に続き、実施計画が策定されるが、実施計画との関連の中で、指標はどのように紐付けされることになるのか。実施計画へ反映していく観点から指標を吟味し、活用していく考え方が重要となる。実施計画へのつながりが市民に分かりにくいことが1つの問題点であり、毎年モニタリングを行い、市民に説明していくことが重要である。【福崎委員】
- 施策の方向性を示すベクトルとして指標を位置づけており、指標のために施策を組み立て、予算化するものではない。中間時点での達成状況の検証は、ご意見のとおり必要と認識している。【事務局】

(2) 政策指標の掲載位置について

- 計画本文中と附属資料の両方にあると良い。計画内容に照らして指標を見る場合、政策指標だけを全体的に見る場合の双方に利用できる。【小野委員】
- 巻末にまとめてあった方が分かりやすい。【小林委員】
- 資料2、65ページのように指標だけで1ページ使うのは体裁的に芳しくなく、附属資料に一括して示した方が良い。【井ヶ田委員】
- 計画本文中に位置づけている現案は、各章で考え方→施策→指標と有機的につながっていて良い。【松本部長】
- 必ずしも二者択一を求めるものではない。本文中と附属資料の両方で示すことも選択肢の1つであり、意見を踏まえて庁内で検討する。【事務局】

3 検討の取りまとめについて

【説明】

事務局より、資料2及び資料3に基づき、基本計画素案（第1章～第3章）の修正箇所の説明が行われた。

【質疑応答・意見】

（郷土芸能まつりについて）

- 「郷土芸能まつり」の定着に努める（資料2 73ページ基本施策②文化財の活用 B文化遺産などの活用）とあるが、一民間企業の取り組みを市が応援することに問題はないか。【井ヶ田委員】
- 企業のメセナ活動として、昭島市の芸術家の作品展など各種取り組みを実施している。市の文化発展に寄与し、公共性を持つ取り組みとして、補助を行っている。【事務局】

■新たな組織・団体が手を挙げた場合も同様に助成を行うこととなるのか。【井ヶ田委員】

○内容等を勘案して検討する。「郷土芸能まつり」は、実行委員会を設置し、ライオンズクラブ、商工会、社会福祉協議会などもメンバーとなり、多様な主体が参加して大きな輪をつくって実施しているものである。【事務局】

（課題と施策との対応について）

■「国際化」（資料2 8ページ）の節では、課題と施策の対応を明確にする上で、各々の順番を合わせると良い。【松本部会長】

○修正するとともに、全体を通して確認する。【事務局】

（語句の標記・用語解説について）

■横文字の解説が加えられるなど、読みやすくなった。【松本部会長】

■「こころの健康づくり」（資料2 23ページ 基本施策①健康づくりの推進 Dこころの健康づくり）について、「心」→「こころ」と平仮名標記にした方が良いとの意見を述べたが、一般的には「心」とした方が分かりやすいのではないかと感じている。【松本部会長】

○現時点では、「心身の健康」などの表記は残すこととなるが、平仮名標記「こころ」で統一したいと考えている。ご指摘の点を踏まえ、表記については再度、担当と調整をはかりたい。【事務局】

4 その他

（今後の予定）

- ・ 次回は8月24日、全体会議として開催予定。
- ・ 次回の審議会で計画案につき最終確認を行い、9月中旬から1ヶ月間パブリックコメントを実施する。
- ・ 9月26日（日）に市民説明会を実施する。
- ・ 11月の審議会でパブリックコメントの結果も踏まえて計画案の最終決定とする。